

「さがみロボット産業特区」の数値目標

総合特区の数値目標は、特区指定後5年間経過した時点における目標値を設定することとされており、「さがみロボット産業特区」では、国への指定申請時に、平成29年度の目標を設定している。

1 数値目標及び実績

- 1 安全・安心に係る県民の満足度（マイナス評価の合計）

平成23年度 31.9% 平成29年度 20%未満

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
31.9%未満	30%未満	27%未満	24%未満	20%未満	20%未満

平成25年度実績：31.6%（平成25年度県民ニーズ調査結果（基本調査））

- 2 健康・福祉に係る県民の満足度（マイナス評価の合計）

平成23年度 28.1% 平成29年度 20%未満

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
28.1%未満	27%未満	25%未満	23%未満	20%未満	20%未満

平成25年度実績：27.5%（平成25年度県民ニーズ調査結果（基本調査））

実証実験等の実施件数

平成23年度4件 平成25年度から5年間で60件

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
10件	11件	12件	13件	14件	60件

平成25年度実績：16件

ロボット関連事業所の集積割合

平成21年度 2.64% 平成29年度 2.80%（経済センサスから集計）

… 経済センサスは毎年度実施されないため、代替指標を設定

（代替指標）県の企業誘致施策におけるロボット関連企業の事業所建設計画認定件数

平成24年度 - 平成29年度までに35事業所

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	計
5事業所	6事業所	7事業所	8事業所	9事業所	35事業所

平成25年度実績：7事業所

2 今後の数値目標の設定について

平成25年度実績を見ると、全体として平成25年度の目標を上回っているが、中でも実証実験等の実施件数は目標を大きく上回っており、このまま推移すれば早期に目標を達成すると見込まれる。そこで、目標値を60件から90件に上方修正することとしたい。

（参考）今後の予定

- この数値目標の達成状況も含め、国において特区の状況についての評価が行われる。
～6月頃 自己評価（国へ評価書を提出）
提出後 総合特別区域評価・調査検討会による評価
- 目標値の上方修正を行う場合、評価手続きと並行して国との調整を進めていく。